

<イベントについて>
※講堂で行うイベントは、基本的に定員200名(先着順)です。※**要申込**の表記がないイベントは申込不要です。※**有料**(材料費や保険料など)の表記がないイベントは無料です。※**要申込**のイベントは、原則として開催日一ヶ月前の開催日(休館の場合は翌開催日)9:30より電話もしくは受付カウンターで受け付けます。定員に達したら受付を終了します。イベントの日時や内容に変更が出た場合、その都度ホームページなどでお知らせします。
※「みんな」は、博物館の活動を応援してくださる皆さんと一緒に、協力してつくりあげる「みんなでつくるイベント」を指します。

- 企画展 発掘ふくしま00 ーふくしま考古学事始めー 関連イベント
- 展示解説会

有料

企画展観覧料または年間パスポート
10/4(土)・10/26(日)・11/15(土)・12/7(日)13:30～14:30 企画展示室

講演会「ふくしま考古学事始め」

10/18(土)13:30～15:00 講堂 平澤慎(当館学芸員)

※数々の発見の歴史を持つ福島県。そんな福島県の発掘の原点に迫ります。

講演会「相馬高校郷土部の軌跡ー創部80年のあゆみー」

10/25(土)13:30～15:00 講堂 佐藤宏志さん(福島県立相馬高等学校郷土部顧問)

※戦後まもなく活動を始めた相馬高校郷土部(ごうどぶ)のこれまでをご紹介します。

講演会「福島県考古学史外伝ー阿部正功子爵・角田文衛・松原正業(岳南)の業績ー」

11/1(土)13:30～15:00 講堂 平田健さん(東京都教育委員会・(公財)古代学協会)

※ふくしまの考古学史を語るうえで近年再注目されている人物についてわかりやすくご紹介いたします。
- キッズ・ファミリー向けイベント

- 会津短大生とあそぼう

10/26(日)10:00～12:00 なんだべや 会津大学短期大学部あそびサークルの皆さん

※短大のお兄さん、お姉さんが遊んでくれるよ。絵本もたくさんあるよ。遊びに来てね。
- 博物館でもよみかせ

10/11(土)・11/8(土)・12/13(土)10:30～11:30 なんだべや

※地域の方が、いろいろなお話を用意して皆さんを待っているよ。博物館資料にちなんだものも紹介します。

見たい!知りたい楽しみたい!! 多彩なイベント

- 自然史講座

化石をさがそう **要申込** 定員20名 **有料** 保険料50円

10/11(土)8:30～18:35 塙町 猪瀬弘瑛(当館学芸員)

※新発見があるかも!?
- 三の丸

雪国ものづくりマルシェ2025秋

10/11(土)12:00～20:00 前庭ほか

※雪深い会津の風土に根差したもののづくり文化、会津の水と土と人の手によって育まれてきた食文化の魅力や歴史を伝える、博物館ならではのマルシェです。

- みんな

なぎなたに触れよう

10/11(土)11:45～12:00 前庭 会津燭竹なぎなたクラブのみなさん

※武家の女性のたしなみに端を発し、会津で盛んに行われているなぎなた。
会津の民謡・玄如節にのせて演武を行います。凛とした姿に憧れます!

- 自然史講座

化石標本をつくらう **要申込** 定員20名 (「化石をさがそう」参加者)

10/12(日)13:00～16:00 実習室 土屋祐貴(当館学芸員)

※君だけの化石標本をつくらう!

- 美術講座

美術放談4「親子代々」

10/13(月・祝)13:30～15:00 講堂

小林めぐみ・塚本麻衣子・原恵理子(当館学芸員)、川延安直(当館専門員)

※親から子へと、守り伝えられるものは様々あります。姿のない教え、先祖代々の家宝。
親子代々大切に守り伝えた美術を通してその意味を探ります。

- みんな

浄瑠璃の世界へようこそ

10/18(土)10:30～12:00 エントランス 竹本仁太夫さん(義太夫弾き語り)

※槍枝岐歌舞伎や田島祇園祭屋台歌舞伎に不可欠な義太夫節。わかりやすい解説や迫力の実演、昔話をモチーフにした創作浄瑠璃など、魅力をたっぷりお届けします

- みんな

刀剣取り扱いを知る、学ぶ **要申込** 各回定員6名 **有料** 参加費2,000円

10/19(日)①10:00～12:00、②13:30～15:30 なんだべや

藤安将平さん(将平殿刀場 刀匠)、塚本剛之さん(鞘師)、塚本浩之さん(研師)

※刀に向き合う真摯な気持ちも含め、刀剣の取り扱いについて刀匠の藤安さんに教えていただきます。
今回は鞘師、研師のお二人にもご参加いただけます。より詳しく、より深く刀剣について知りたい!という方におススメです。

- 口催事業

水晶をさがそう **要申込** 定員20名 **有料** 保険料50円

11/2(日)10:00～12:20 郡山市 友の会化石鉱物探検隊

※きれいな水晶を見つけよう!

- 博物館講座

親子で探検!博物館のウラ側 **要申込** 定員15名(小学生を含む親子)

11/3(月・祝)13:30～14:30 なんだべやほか 当館学芸員

※けんぱくのウラ側(バックヤード)をお見せします!

- みんな

会津本郷焼の器をつくらう **要申込** 定員15名 **有料** 材料費2,500円

11/9(日)13:30～15:30 実習室 宗像利訓さん(宗像窯9代目)

※会津本郷焼と宗像窯の歴史も学べます。オリジナルの器づくりに挑戦できます。

- みんな

七絃琴と茶道を楽しむ **要申込** 各回定員20名 **有料** 参加費1,000円

11/16(日)①10:00～11:00、②11:30～12:30、③13:30～14:30 なんだべや

石州流宗家会津支部のみなさん・飛田立史さん(専士)

※江戸時代には柳営茶道として武家に広まっていた石州流の茶道と、会津藩士も弾いていた七絃琴の音色が150年以上の時を超えて、三の丸=博物館で出会います。ぜひお楽しみください。

- 考古学講座

会津大塚山古墳を歩こう **要申込** 定員20名 **有料** 保険料50円および常設展観覧料

11/22(土)10:00～15:00 常設展示室・会津大塚山古墳 平澤慎(当館学芸員)

※会津若松市街地に残る「会津大塚山古墳」の見どころを学芸員と一緒に散策しながら学びます。
小雨決行、荒天・積雪の場合は中止します。

- 歴史講座

はじめてさんの古文書講座 **要申込** 定員35名(全2回参加できる方)

第1回11/23(日)・第2回12/21(日) 各回13:30～15:00 実習室 栗原祐斗(当館学芸員)

※古文書解読用の辞書の使い方から始めます。お気軽にご参加ください。

- みんな

マタタビ細工職人の技を見てみませんか?

11/29(土)10:00～15:00 (いつでもご覧いただけますが、途中で休憩時間があります) なんだべや 菅家豊さん(マタタビ細工職人)

※なかなかご覧いただけない貴重な作り手の作業風景です。質問もできますよ。

- みんな

マタタビの枝からリングを作ろう **要申込** 各回定員10名 **有料** 材料費2,000円

11/30(日)①10:00～12:00 ②13:00～15:00 なんだべや 菅家豊さん(マタタビ細工職人)

※奥会津の伝統工芸であるマタタビ細工。枝の皮を剥き、ヒゴ作りから体験できます。

- 口催事業

令和7年度 福島県立博物館友の会講演会「相馬攻めから蘆名攻めへー伊達政宗・23歳の挑戦!ー」

12/6(土)13:30～15:30 講堂 高橋充(当館副館長)

※伊達政宗の会津侵攻はどのようなものだったのか。政宗の動きから、その意図を考えます。

- 美術講座

美術放談5「会津らしさとは」

12/13(土)13:30～15:00 講堂

小林めぐみ・塚本麻衣子・原恵理子(当館学芸員)、川延安直(当館専門員)

※会津らしさとはなんでしょうか。会津の作家、会津ゆかりの作家たちの作品から「会津らしさ」を考えます。

- みんな

会津木綿で大きなポケット付きエコバックづくり **要申込** 定員10名 **有料** 2,000円

12/14(日)13:30～15:30 なんだべや 田崎薫さん(株式会社 はらっぱ)

※盲段使いしやすいエコバックで、会津木綿を暮らしにとりいれてみませんか。

- みんな

なぎなたに触れよう

12/20(土)10:00～12:00 エントランス 会津燭竹なぎなたクラブのみなさん

※会津燭竹なぎなたクラブが博物館で公開練習。迫力の演武、型を間近にご覧いただけます。やってみたい!という方にはクラブのみなさんが教えてくれますよ!

- 民俗講座

薬に親しむワークショップ～楽しく学ぼううわら細工 **要申込** 定員15名

12/20(土)13:30～15:00 なんだべや 大里正樹・山口拡・西尾祥子(当館学芸員)

※初心者でも大丈夫!お正月を前に、簡単なしめ飾りやうわら細工を作りましょう

ご案内

- 【観覧料】
- 常設展観覧料
- 一般・大学生400円(20名以上の団体は320円)
- 文化の日11/3は、すべての方の常設展観覧料が無料です。
- 秋の企画展「発掘ふくしま00(ゼロ)」
- ーふくしま考古学事始めー
- 一般・大学生1,200円(1,000円)、
()内は20名以上の団体料金。
- 三施設共通観覧券をご購入の方は、割引料金800円。
- ＊高校生以下は常設展・企画展ともに無料です。
- 年間パスポート 2,400円
- 購入日から1年間、当館主催の企画展や常設展が
何度でもご覧いただけます。
- 三施設共通観覧券(当館常設展・鶴ヶ城天守閣・茶室麟閣)
- 一般・大学生730円
- 年末年始の休館について
- 12/28(日)～1/5(月)は年末年始休館日となります。
- それ以外の休館日はホームページ、年間展示案内をご覧ください。



- JR会津若松駅から約3km
- ・タクシーで約10分
- ・まちなか周遊バス「ハイカラさん」で約20分
(鶴ヶ城三の丸口下車すぐ)
- ・まちなか周遊バス「あかべさ」で約30分
(鶴ヶ城三の丸口下車すぐ)

- 車椅子使用者用駐車場

博物館西側「鶴ヶ城三の丸口」バス停そば:2台
一般駐車場内博物館入り口側:3台

- 子育て応援駐車場

一般駐車場内博物館入り口側:3台
※妊娠中の方や未就学児のお子さんをお連れの方を
対象とした駐車場です。
※ご不明の点はお問い合わせください。

Curator diary



福島県立博物館
Fukushima Museum

開館時間9:30～17:00(チケットの販売は16:30まで)
お問い合わせ TEL0242-28-6000 FAX0242-28-5986
〒965-0807 会津若松市城東町1-25
HP https://general-museum.fcs.ed.jp E-mail general-museum@fcs.ed.jp

なじよなVol.25 10～12月号 2025年9月30日発行 発行/福島県立博物館

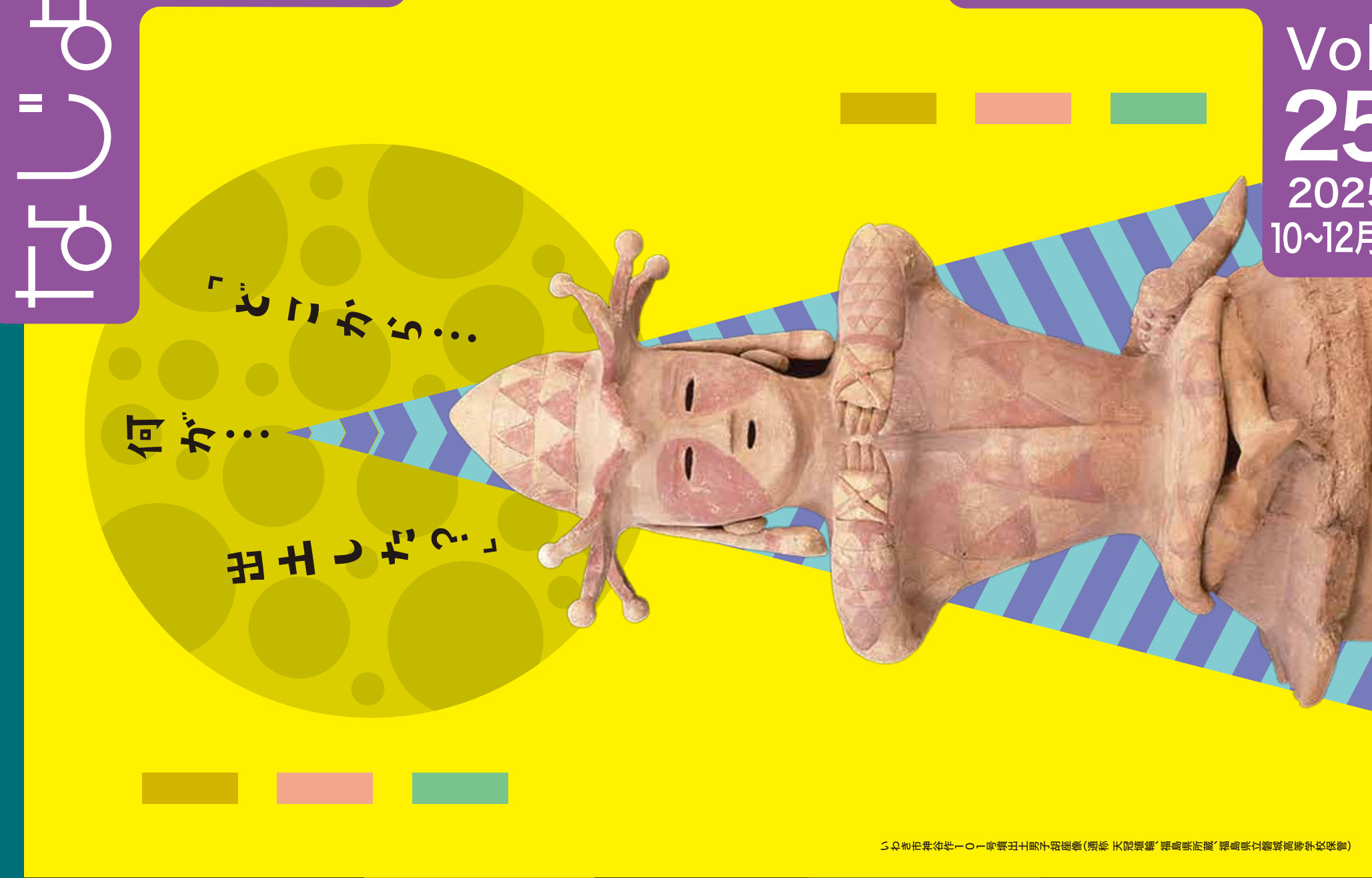


福島県立博物館

なじよな

Vol.
25
2025
10～12月号

Vol.
25
2025
10～12月号



Vol.
25
2025
10～12月号

Vol.
25
2025
10～12月号

福島県立博物館

「教員のための博物館の日2025 福島県立博物館」開催しました！

「教員のための博物館の日」ってなに？

福島県立博物館では、学校の先生方や公民館の方などに、博物館を活用してもらうために「博物館を利用した教育プログラム研修会」を実施しています。今年度からは、国立科学博物館の共催事業に参加し、「教員のための博物館の日」という名称で8月5日(火)に実施しました。小学校・中学校・高校・支援学校の先生方や公民館・教育関係者の方など、多くの方に参加していただきました。なんと福島県外からの参加者もありました！

その内容は・・・

当日は5つの講座が実施されました。考古分野の講座は、会津大塚山古墳を中心に会津の古墳についての知識や見どころの解説を講堂で行いました。会津大塚山古墳の模型も登場し、活発な質疑応答もありました。

自然分野の「魚の耳石について」では、実際に耳石探しにチャレンジしました。みんなで熱中！なんだべやで連携協働班が紹介した遠隔観覧システムは、事前・事後学習など活用の可能性を感じさせられました。

災害分野の講座では、災害時における問いについて班ごとに活発に話し合いが行われました。また、普段の学校での活動が災害時にも生きるという視点に気づかされました。

民俗・歴史分野では、昔の大雪の映像を見て現在と昔の違いを読み取ったり考えたりしました。人によっては「見たことある！」という実際の道具も登場。

最後の意見交換会では、博物館の活用方法を話し合ったり、博物館への質問や要望をいただいたりしました。



博物館を様々な教育の場で活用してください

授業や総合学習(探究)に使える知識や、「なるほど!」となる目からウロコの新情報など、博物館を活用するヒントがいっぱいです。来年度の予定については、春先にHPなどでお知らせする予定です。引き続き、多くの方々の参加をお待ちしております。

10～12月のポイント展

＊ポイント展は、収蔵品を中心に、特別に公開する資料などを1点から紹介する小規模展です。

● 若松城下絵図屏風を見る ～10/13

※幕末の城下町の様子とは。

● 都々古別神社の宝物 ～12/14

※国指定重要文化財の銅鉢(個人蔵・当館寄託)の実物を期間限定で展示します。

● 若松城下の商人たち 一大町検断 薬田氏の記録からー ～11/29～12/26

※若松の商人を率いていた薬田家の記録を紹介します。

● ふくしまの食文化 12/13～2026/3/1

※豊かな自然からいただく海の幸、山の幸。そして先人の工夫や知恵のつまった「ふくしまの食文化」をご紹介します。



新地町三貫地貝塚出土土土面
(福島県立相馬高等学校所蔵)

担当学芸員(考古分野)の平澤慎さんに聞きました。

Q1 「発掘ふくしま」というタイトルは過去にもありましたね。00とはどういう意味でしょう？

当館では「発掘ふくしま」と題した企画展を過去に4回開催し、その時々最新の発掘調査成果をご紹介してきました。5回目となる今回は、最新の調査成果ではなく、思い切ってふくしま発掘の原点に迫ってみようということになり、タイトルも「発掘ふくしま5」ではなく原点を意味する「発掘ふくしま00」となりました。

Q2 原点の展示、どんなところが見どころですか？

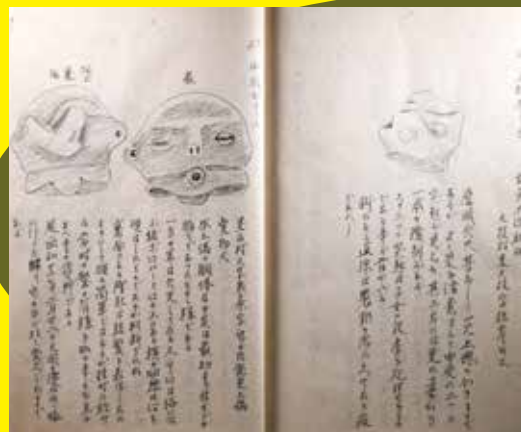
考古学という学問が確立する以前の江戸時代や近代・戦前の人たちは、地中から出土したはるか昔のモノを集め、記録していましたが、どのような関心を持ってそれらのモノに向き合ってきたのか。また、使い方や誰が使っていたのかなどの謎にどのように迫っていったのかぜひ注目してください。当時の見解は、研究が進展した現在の知見から見ると間違っていることもあります。当時の学問の進展レベルを示す証拠としてそのまま展示しています。また、今回の展示では、土器や石器だけでなく、スケッチや記録などの紙資料も多く展示します。実物が残っていないくても、記録が現在まで残っているからこそ、地域の歴史がわかることもあります。展示をご覧いただいた後、ぜひ自分が今いる場所にはどんな歴史があったのか目を向けてもらえらうと思います。新たな歴史的な発見は、実はみなさんにもできるということを好古家たちは伝えてくれています。

キーワード 好古家

古いモノが好きで集めているもの好きな人というイメージを持たれる言葉ですが、ふくしまの好古家たちはただ古いモノを集めていたわけではなく、集めた資料をどうしていきたいかを見据えて集めていた人が多いと思います。ある人は博物館を建て一般に広く公開していく、またある人は地域の歴史を明らかにするためなど、それぞれ高い志を持って集められていたようです。



堀江繁太郎画帖より 岩瀬郡浜田村糸そ穴(福島県立図書館所蔵)



収集された土偶とその記録(当館所蔵)



会津坂下町寛原遺跡出土 濾過器付土器
(左:喜多市教育委員会所蔵、中央と右:個人所蔵)

令和7年度秋の企画展

発掘ふくしま

1670 → 1969

考古学
ふくしま
始め

江正
大明和



白河市三森遺跡集 石製模造品
(須賀川市立博物館所蔵)



相馬高校生による古墳調査の記録
(福島県立相馬高等学校所蔵)



考古学者 後藤守一によって鑑定された弥生土器
(福島県立磐城高等学校所蔵)

展示ウラ話「こんなところに苦労しました」
近代や戦前の時期を対象とすることもあり資料探しに苦労しました。福島県の歴史がまとめられた『福島県史』では、このあたりの時期の発掘調査については資料がないため詳細不明とまとめられており、出ばなをくじかれました。ですが、各市町村から刊行された自治体史を読み解いていくと、各地に郷土史家や好古家がいて資料の収集や発掘が行われていたことが分かってきました。

※一部展示資料は展示期間が限られたものがあります。

テーマ展 会津の絵画

会期:11/22(土)～2026 1/25(日)

展示場所:分野別展示室 歴史・美術

近年は定期的に開催し、資料を公開している「会津の絵画」シリーズ。

今回の見どころについて、学芸員(美術分野)の川延安直さんに聞きました。

絵画と武家文化

当館の文化観光事業「三の丸からプロジェクト」では、会津の武家文化をご紹介することにも力を入れています。今回のテーマ展もその一環です。もちろん絵師たちは武家ではありませんが、彼らの作品には武家の好みも反映されています。彼らは芸術という形で会津の武家文化を支えたわけで、こうした面から「会津の武家文化」を捉えることも重要なことだと考えます。

テーマは「滋味深さ」？

会津藩、会津の武士の好みを語るキーワードとして、「滋味深い」という言葉がピッタリくるのではないでしょうか。流行を追わず、伝統と歴史を尊重する姿勢。確かな技量による作品の質の裏付け。派手さはないかもしれませんが、心に染み入るような美しさ、じっくりと長く付き合うほどに良さが感じられてくる奥深さがあります。展示室ではそんな「滋味深さ」に浸っていただきたいですね。

ピックアップ資料

今回「なじよな」でピックアップしたい資料が萩原盤山の「山水花鳥獸図」のうち「梅に鶯図」(部分)です。実はこちらの資料は修復をして、きれいになって戻ってきたばかりのものです。博物館に収蔵される作品は古いものが多いので、受け入れの段階で劣化・破損の進んでいるものも多くあります。そうした資料は「修復」といって、専門的な知識や技術を使い、その価値を損なわず、元の状態に近づける作業が必要になります。

しかし、専門的な仕事ですから、修復をお願いするにもそれなりのお金が必要になります。限られた修復予算の中でどの作品から修復を進めるか。学芸員の頭を悩ます大きな問題です。



萩原盤山 「山水花鳥獸図」のうち「梅に鶯図」(部分)

ミュージアムパートナー制度ははじめました！

「ミュージアムパートナー制度」ってなに？

福島県立博物館はこれまで多くの方々と連携し、季節の行事や文化体験イベント、こどもたち向けイベントなどを一緒につくってきました。そうした事業を継続的に、そしてより活発に行っていくために、今年度改めて、「ミュージアムパートナー制度」を立ち上げました。博物館と共に歩んでくださる団体・個人のみなさま(＝ミュージアムパートナー)との協働により、互いの専門性を活かしながら、福島県の歴史や文化、自然を伝え、地域の未来につながる活動を展開していきます。

今年度上半期には、「みんなで作るイベント」と題して、飛田立史さん(琴士)による七絃琴の演奏、宮崎宗伊さん(会津茶楽会主宰)によるお茶遊び、会津磐梯山盆踊り保存会のみなさんによる盆踊り、会津能楽会のみなさんによる能楽フルコース体験、読み聞かせなどなど、多くの事業を実施してきました。博物館の収蔵資料を活用した体験がより深まる空間づくりなど、パートナーのみなさんと相談しながら様々な工夫も凝らしています。ミュージアムパートナー制度では、パートナーのみなさん同士の交流も大切にしています。交流会では、それぞれの課題を共有したり、こんなことができた面白いのでは？を話し合ったり。交流の中から、パートナーさん同士のコラボ企画なども生まれています。10月からの「みんなで作るイベント」をぜひチェックしてみてください。

令和8年度の事業に向けて、新たなミュージアムパートナーさんを募集しています。博物館で、博物館と、こんなことがしてみたいという方、まずはご相談ください(11月末まで)。どのような事業をつくっていくか、一緒に考えましょう。お待ちしています。お問合せは博物館連携協働班まで。



見て触れて、能を体験してみよう(8月24日開催)



お茶遊び(6月22日開催)